

平成20年度 3号
2008年 6月1日
住み良い町づくりへ
ご意見・情報*をお寄せください

元気！緑 & 芥見東 自治会だより

発行
岐阜市 芥見東自治会連合会
芥見東まちづくり協議会
発行人:多田 喜代則
編集:自治会連合会文化部会

みどりっこバス 割戻回数券の予約は芥見東・南合わせて約350件となりました。自治会員・役員、各種団体役員の方々の皆さまのご協力に感謝します。割戻回数券は今後車内でも販売。

今年も訓練終了後の引換券による
カンパイン
を配ります(参加1世帯につき1年)。

配布

大洞	4-81
東山	3-55
北山	38-371
コモン北	6-87
桜台	23-333
桜市	41-313
柏台	31-339
柏市	26-219
桐丘	23-199
桐市	6-45
紅葉	21-267
紅市	16-142
桜2P	1-23
計	239
	/2474

防災意識 まさかの時に、ご近所の底力を

＜連合会長のここ一番＞No.2 ー多田喜代則

6月8日(日)は防災訓練です。いつこの地域に阪神・淡路大震災級の地震が起きないとも限りません。かなりの確率で東海地震などが心配されています。

今こそご家族で、ご近所で防災に関する意識を高めることが肝要かと思えます。

「災害は忘れた頃にやってくる」とも言われます。そのためにも防災訓練にこぞって参加し、地震のこと、火事のこと、台風のことなども話し合ひましょう。□■

防災訓練 東中生も地域の一員として参加

ー藍川東中 PTA 会長・後藤 義廣さん

日ごろは、藍川東中学校 PTA の活動にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

会長職を受けて1年が過ぎ、強く思うのは、地域の人々が平素から子どもたちの「安全」「安心」な生活を守るため、「パトロール」、「地域行事」や色々なことで子どもを見守り、育ててくださっているということです。

親として頭が下がる思いです。ありがとうございます。子どもたちにも「地域の一員である」という意識を強く持たせて、親子で色々な地域行事に参加させてもらい、「この地域で育ち」、「この地域に根をはる子ども」を育てていきたいと願っています。

それを実感させる手始めに今年は学校と手を携えて子どもたちを防災訓練(紅葉地区)に参加させます。

今後子どもたちを温かく、そして厳しく見守ってくださるようお願いいたします。 □■

安全運転 高齢者交通安全大学の授業始まる

ー交通安全協会芥見東支部長・宇野 美智雄さん

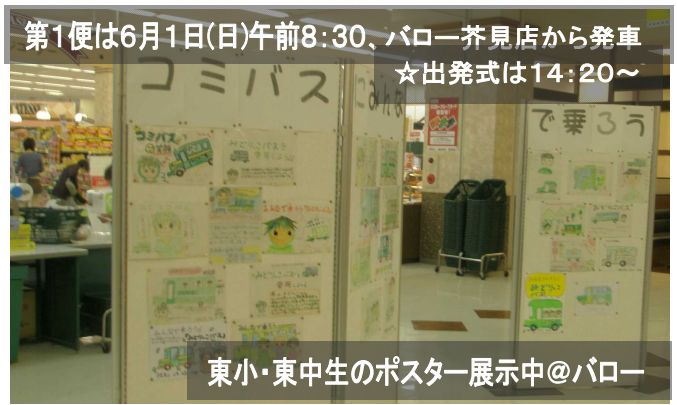
芥見東の学生20名が第1回のシルバー・ドライビング・スクールに参加し、車の点検、運転態度、進路変更などの実技指導や身体的衰えの自覚、予見すべき危険性などの高齢者向けならではの座楽を受けました。



開校式に臨む上野東公民館長

みどりっこバス この日のために皆で準備

第1便は6月1日(日)午前8:30、パロー芥見店から発車
★出発式は14:20～



東小・東中生のポスター展示中@パロー



得々回数券の発行作業



バス停組立作業



バス停設置完了

まちづくり 住んでよかった!と思える町に

ー自治会連合会理事・松原 鈴枝

岐阜市の中でも高齢化率上昇が著しい当地域で、私たちはどのように老後を送りたいのでしょうか。

公共交通手段として今月からコミバス[みどりっこバス]も導入されるなど、高齢化に向けての施策が着実に進もうとしています。

ここに移り住み30有余年、子どもたちも巣立ち、高齢者世帯、独り暮らし世帯も以前に比べ増え、身体的な衰えとともに、将来への不安が高まっています。

高齢者だから・高齢者でも・高齢者同士・・・でできることはないでしょうか。例えば、市の施策にある「愛の一声運動」を私たち民間でグループづくりして具体化し、お互いに見守ることなどはどうでしょうか。

遠くに住む子どもたちから、「親のいる“ふるさと”は福祉が充実し、離れていても安心だ」と思ってもらえるようなまちづくり、また、私たち自身「ここに住んでよかった!」と思える町になることを望みます。 □■

*「こうしては?」のご意見や話題・知恵・要望などを、ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

★芥見東こどもスポーツフェスティバルが6月1日午前9時から芥見東小で催され、子どもたちはドッジボール、グラウンドゴルフなどに挑戦します。ご声援をお願いします。

東濃から 恵那と御嶽と自炊生活と…

—前藍川東中学校校長・加納博明先生

皆さん、こんにちは。私は、4月から県教委東濃教育事務所で勤務しています。2年という短い間でしたが、芥見の皆さんから元気と笑顔をいただくことができました。ありがとうございました。

東濃地区での勤めは3回目で、仲間やお世話になった方々も多く、助けていただいています。教育事務所は恵那の総合庁舎にあり、5市(多治見、土岐、瑞浪、恵那、中津川)を担当しています。

庁舎からは遥かながらも御嶽山がよく見え、景色が大変すばらしいです。でも、恵那は、冬になると寒さ厳しく、毎日氷点下の世界です。

私は、庁舎に近い宿舎で、何と「自炊」をしています。毎日の夕食の準備もたいへんですが(想像してください)、東濃地区のために頑張っているところです。

お近くへ来られたら、ぜひお寄りください。

皆さまのご健康と芥見東のますますのご発展を遠く恵那の地よりお祈りしています。



恵那総合庁舎から御嶽(右上)を望む

我慢強い子に ゲームの「リセット」に思う

—桜台支部の方より

現在、私たちの生活の中には様々なゲームが数多く浸透している。その中で生きる子どもたちにもごく自然にゲームに親しむ毎日ができあがっている。

ゲームの世界では、自分の思う通りにならずに負けそうになるとすぐに「リセット」されるようで、これはよく繰り返される行為であるとか。

一方、スポーツの世界では、負けそうになっても途中で「リセット」することはできない。もちろん将棋でも「待った」はマナー違反である。スポーツなどに限らず、私たちの生きる社会でも簡単には「リセット」できない。

幼少の頃より目に涙し、負けを認める気持ちこそが強い精神力の「みなもと」になると思われる。我慢強い健全な精神の子どもたちに育つように地域社会でも見守っていかれたらと思う。 □■

高校生 地域活動に参加できる環境を

—城北北山支部の方より

高校生の娘が、「中学を卒業したら地域活動での出番が無くなってしまって残念だな」と話していました。娘によれば、地域活動に参加したいと思っている高校生はけっこう何人もいます。

ぜひ自治会や社協で、『高校生・大学生・社会人(青年)ボランティア』を募集していただけませんか。年度初めに募集・登録し、ボランティアが必要なときは案内を配布するというのはいかがでしょうか。

大人は自分たちで動いた方が早いかもしれないし、忙しい若者のこと、毎回参加は無理かもしれませんが、若い力をもっと活用できたらいいのに、と思います。ずっと地域活動に参加できる環境はあった方がいいとも思います。

子どもたちが、外の世界へ視野を広げていくのも大事ですが、地元にも目を向け、ふるさとを大切に思う心も持ち続けていってほしいと願っています。 □■

白山神社改築 コミバスでご参拝ください

—大洞支部長・玉田 昇三さん

大洞白山神社は、皆さまからの温かいご支援と多大なご寄進を得てこのほど改築され、4月6日には「御社殿造営奉祝祭」が中将姫誓願桜の咲いている前で、厳かに行われました。

改築された社殿は、地域の守り神白山神社の外に天照大神を祀る神明神社、火難から守る秋葉神社、財福の守り神稲荷神社、学問の神天満宮です。

各神社の前には、お祭りしてある神様と由来などを説明した看板を立てさせてもらい、天神山にある天神神社(天満宮)までの道順も建てました。

ぜひ、子どもさん、お孫さんと一緒に参拝され、由来などを説明していただけたらありがたいと思います。

参拝所から本殿を見てください。新しい本殿がまぶしく見えます。おんぺい鈴も鳴らし、参拝してみてください。清々しい気持ちになるとと思います。 □■



おんぺい鈴

行	福祉合同連絡会議	6月29日(日)	東公民館
事	夏祭り・盆踊り大会	8月9日(土)	東小校庭

☆ご注意！自転車・前カゴからのひったくりが頻発しています